

花と笑顔で元気なまち

①9 || まちづくりレディース鳥取 ||

女性のパワーで

鳥取市をはじめ多くの地方都市では、中心市街地のにぎわいが失われるなど、商店街の衰えが進み深刻な問題となっている。そんななか、中心市街地に活力を与え、昔の商店街のにぎわいを取り戻そうと立ち上がった女性グループがある。

「まちづくりレディース鳥取」(会長渡辺光子さん・戎町)である。



会長の渡辺さん

「グループのキーワードは、商いをおとしたまちづくり」と満面の笑みで答える渡辺さん。

グループは、平成十三年、市内の商店街のおかみさんたちを中心に八十四人で結成。女性の持つ豊かな感性や知性、人とのつながりを活用して街の活性化を目指している。



街が美術館に

昨年このグループは、会員たちの心が一つになって、商店街のにぎわいを生み出す活動は何があるのかをテーマに話し合いを行った。

そこで思いついたのが『花アート』だ。幼稚園児からお年寄りまでの市民から募った花をイメージした作品を各店舗のショーウィンドウに飾り、商店街全体を展示場に。



作品の製作に励む会員たち

「街全体が一つの美術館になったような…。通りがかる人たちの足が店の前で立ち止まり、街がにぎわいに包まれたようで、とてもうれしかったです」と満足感いっぱい話す渡辺さん。

にぎやかに、街が変われ

「中心市街地は、街なかの文化の拠点や生活の中心の場。街がおとろえれば、人の

元気も失われる。そうならないために、女性の力で街のにぎやかにしていきたい」

会員たちの知恵と元気と笑顔があれば、できないことはないと確信するように語った。

「今年も十一月一日から四日まで、市内の商店街を花アートで飾るんですよ。きっと華やかでにぎやかな鳥取の街になりますよ」と『はな*はな鳥取回廊』にかける熱い思いを語ってくれた。

「人が変われば店も変わる。店が変われば街も変わる」最後にそう語ってくれた渡辺さんの言葉に、まちづくりの明るい未来が見えた。



ショーウィンドウに美しく飾られた花アート